

一般入学試験における新型コロナウイルス感染防止対策について

関西学院大学

文部科学省の『令和3年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン』を踏まえ、関西学院大学の2021年度一般入学試験において、感染拡大防止の取り組みを行っています。以下は主な内容です。

<受験機会の確保>

1. 一般入学試験は予定通りの日程で実施します。なお一般入学試験を新型コロナウイルス感染症等に罹患したなどの理由で受験できなかった者を対象として、追試験を実施します。

<事前の対策>

2. 試験校舎入口や試験室ごとに速乾性アルコール製剤を配置しています。
3. 校舎本部要員や試験監督者等、試験業務に携わる者については、担当する試験日の7日程度前を目安に、毎朝体温測定を行うよう指示しています。体調不良者が出た場合に備えて、代替の試験監督者等を確保しています。
4. 発熱・咳などの症状がある受験生が受験する場合に備えて、看護師を西宮試験地および全国試験地に配置しています
5. 発熱・咳などの体調不良者のための別室を設け、別室ごとに可能な限りの間隔を空ける座席配置としています。但し、試験場の環境などにより、別室を設けることができない場合は試験室の後方に通常の受験生とは可能な限り距離をとった座席を設けて対応します。
6. 机、椅子は試験前日に拭き取りによる消毒を行います。
7. 受験生に対し、発熱・咳などの症状のある場合は、その旨を申し出るよう試験校舎の入口などに、掲示します。

<当日の対応>

8. 受験生、校舎本部要員、試験監督者および連絡員は、試験場内ではマスクの着用を原則必須とし、未所持者にはマスクの提供を行います。
9. 受験生、校舎本部要員や試験監督者等、試験業務に携わる者は、休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話は極力控えるように要請します。
10. 受験生、校舎本部要員や試験監督者等、試験業務に携わる者は、試験室への入室の際には、速乾性アルコール製剤による手指消毒を必須とします。
11. 試験開始前に発熱・咳などの症状の有無を試験監督者が受験生に確認します。受験生から、発熱・咳などの症状があると申し出を受けた場合は、1科目も受験していなければ追試験の案内をし、1科目でも受験していれば、別室（別室がない場合は通常の受験生とは可能な限り距離をとった座席）での受験を案内します。
12. 試験室においては、可能な限り換気の頻度を多くすることが望ましいため、試験実施時間以外は、窓を可能な限り開放します。
13. 受験生には昼食持参と自席での食事を要請しています。昼食時の受験生同士の会話、交流、接触を最大限に抑制する観点から、西宮試験地の食堂は開放しません。

<試験終了後の対応>

14. 終了時の混雑を避けるため、各試験室から受験生を一斉に退出させず、一定間隔を空けて退場するよう指示します。

以上